

公益財団法人ウェスレー財団活動報告

2014年度(2014年4月～2015年3月)

ウェスレー財団は、『キリストの博愛の精神に基づき、国際相互理解を深め、教育をとおして国民の心身の健全な発達に寄与し、社会福祉の増進に寄与する』という目的に沿って、次の3つのミッションを掲げて活動している。

1. 女性のエンパワーメント
2. 青少年の育成
3. 人道支援

2014年度は、特に以下に重点を置き活動した。

1. 国籍、文化、年齢、ジェンダーの枠を超えての交流と学びを経験するプログラムの充実
 - 長崎スタディーツアー
 - 講演会「バングラデシュに寺子屋を建てる話」
 - 講演会シリーズ「今貧困を考える」
 - ユースフォーラム「ヘイトスピーチを考える」
2. 国際社会に生きるリーダーシップ育成活動の充実
 - インターンシップを開始：インターン1名を受け入れた
 - 合同メソジスト教会世界宣教部が主催する **Generation Transformation**（国際インターンシップ・プログラム）に協力することにより、青年の国際的リーダーシップ育成をサポート。
3. 広報の充実
 - ホームページの改訂
 - インターネットによる情報発信：Facebook、ブログ
4. 組織運営の強化と充実

公益目的事業の活性化と円滑な運営のために、スタッフを採用。

 - アシスタント・プログラム・ディレクター1名：主に国際インターンシップ・プログラムと被災地援助活動を担当。
 - 事務局総務アシスタント1名（短期採用）

【海外プログラム】

国際相互理解と交流を目的に海外でのリーダーシップ研修、奉仕体験プログラムを関係団体とも協力し実施する。特に女性や青少年のリーダーシップ育成ためのプログラムを行う。

(1) クリスマン女性の国際会議（支援） 2014年4月25～27日 アメリカ

女性のためのアドボカシー活動やリーダーシップスキルを学ぶと共に、国際交流と国際理解を深めることを目的とした会議。合同メソジスト教会女性局主催で、4,000名以上のクリスマン女性が参加した。ワークショップ指導者3名を含む7名を派遣した。

(2) 韓国で平和を考えるセミナー（支援） 2014年7月7日～7月17日 韓国

アメリカ、日本、韓国の参加者が、ワークショップ、講義、討論、文化体験、北緯38度線見学などを行い、共に平和構築について考えるセミナー。6月29日に日本の参加者3名にオリエンテーションを行った。Scranton Women's Leadership Center in Koreaが主催で、日本から3名を派遣した。参加者は、若い女性40名。

(3) アジア女性のためのリーダーシップ研修（共催）

2014年9月13日～9月22日マレーシア

ワークショップや現地の視察、交流を通じて、国際相互理解とリーダーシップ育成を図る研修。Scranton Women's Leadership Center in Koreaとの共催で、参加者はアジア諸国から40名、うち日本からの参加者は4名。

(4) アジア女性のためのリーダーシップ研修（18～30歳）（共催）

2015年2月7日～2月14日 カンボジア

アジアの多様な文化と歴史、女性に関わる社会問題を学ぶと共に、リーダーシップの育成を図る研修。Scranton Women's Leadership Center in Koreaとの共催で、参加者は、アジア8カ国より40名、うち日本からの参加者は3名。

(5) 女性のエンパワーメント会議（国連婦人の地位委員会国際会議の平行セッション）

（支援）2015年3月3～20日 アメリカ

第59回国連婦人の地位委員会国際会議開催に平行して、「北京プラス20」をテーマに開催されたコミュニティーリーダーのための会議。合同メソジスト教会女性局主催。日本から2名、フィリピンから1名を派遣した。

【国内プログラム】

平和構築と人権尊重を目的に、多様なテーマを取り上げてプログラムを実施した。また国籍、文化、年齢、ジェンダーの枠を超えて、人々に交流や学び、奉仕活動の機会を提供することにより、国際的な協力や相互理解が育成されることを目的とする。

(1) 講演会「バングラデシュに寺子屋を建てる話」（主催） 2014年5月12日

ダッカ市のスラム地区で始めた寺子屋教育運動を展開しているBDP（ベイシック・デイベロップメント・パートナーズ）の局長アルバート・マラカール氏による講演会。バングラデシュの教育や地域の様子、教育を与えるだけでなく教師も育成することで女性の自立に貢献をしていることを聞き、国際協力を考える機会となった。参加者7名。

(2) 社会奉仕活動アイデアコンテスト”Start It Out”発表会 (主催) 2014年7月4日

昨年度に募集したコンテストに6チームの応募があった。4名からなる選考委員の審査の結果、医療についての問題提起を若い医療従事者が主体的に行うメディアの立ち上げを企画した医学生グループ M-Labo が最優秀賞に選ばれた。

(3) サマーキャンプ (支援) 2014年7月5~18日

カリフォルニアから高校生15名が来日し日本の青年たちと交流した。奉仕活動を行うことで国際相互理解を深めるキャンプ。来日した高校生は、東京、広島、京都を訪問し、日本の歴史や文化を学ぶと共に仙台と石巻で、震災支援活動に参加した。

(4) ユースフェローシップ (支援) 2014年8月16日

アメリカとドイツから8名が来日し、日本の青年と交流し国際理解を図るフェローシップ。参加者45名。

(5) 国際ミッションインターン中間報告会 (支援) 2014年10月24日

日本の福祉施設、NGO、学校で働く合同メソジスト教会の宣教師と、国際インターンとして世界中で働く青年を対象とした経験の分かち合いと国際理解や交流を深める会。参加者28名。

(6) 講演会シリーズ「今、貧困を考える」 (主催)

2014年10月8日、11月20日、12月13日

特定非営利法人山友会の油井和徳氏を講師に迎え、日本における現在の貧困問題を学ぶ講演会。シリーズ3回目は、三谷地区でスタディーツアーを実施し、山友会の働きやホームレスの人々の現状を学んだ。参加者は、シリーズ合計55名。

(7) 長崎スタディーツアー (主催) 2014年11月13~16日

殉教と被爆の歴史を学ぶことを目的として長崎、福江島、上五島を訪問するツアー。参加者6名。

(8) 平和構築セミナー (主催) 2014年12月6~11日

沖縄でアジアの若者が平和構築のために共に学び考えるセミナー。ワークショップの講師は、高里鈴代氏(基地軍隊を許さない行動する女たちの会)とクリスティーン・アン(Korea Policy Institute)氏。香港、韓国、フィリピン、日本の参加者が沖縄を含むアジア・太平洋地域の歴史と現状を女性の視点から学び、スタディーツアーを行った。参加者は日本人参加者5名を含め計13名。

(9) ユースフォーラム“ヘイトスピーチを考える” (主催) 2015年1月16日

日本各地でみられるマイノリティーに対するヘイトスピーチ問題を考えるフォーラム。在日韓国人問題研究所所長の佐藤信行氏から、ヘイトスピーチの背景や現状を学び、参加者による討議が行われた。学生キリスト教友愛会と早稲田奉仕園およびウェスレー財団との共催。参加者 23 名。

【助成金プログラム】

ウェスレー財団の目的やミッションに沿う活動や行事を支援し、また公益活動機関及び団体での教育支援のために助成金を支給する。

A. 活動や行事への支援

1) 兵庫教区・香港青年交流キャンプ 2014年8月14日 香港

兵庫に住むクリスチャン青年と引率者が、現地のクリスチャン青年との交流と文化理解を行うキャンプ。参加者 7 名。

2) ユースミッション 2014 2014年8月15～25日

アメリカとドイツから 8 名が国際理解と交流のために来日し、日本キリスト教団主催の青年大会 (8 月 19～21 日) に出席した。また広島や京都で歴史を学び、東北で被災者支援活動を行った。

3) アジア学院キャラバン 2014年11月5～25日

アジア学院の働きと使命の促進のために西日本の支援団体を訪問。

4) 英語いのちの電話, 子育て支援プログラム

英語版電話による自殺防止カウンセリングセンター主催の子育て支援プログラム。

5) 外国にルーツを持つ子供の学習支援活動

神戸の学校に通う外国にルーツを持つ子供たち (中国、アフガニスタン、パキスタン、インド他) の学習支援活動。

6) 親子と家族のセミナー 2015年1月24日

講師、石丸正彦精神科医による「子離れ、親離れ」をテーマにして行われたセミナー。教会婦人会連合主催。参加者 35 名。

7) 国際メソジスト学校連盟会議 2015年5月25～28日

広島女学院大学を会場に開催されたメソジスト関係学校連盟主催の国際会議。

8) 科学と人文学研究アジア会議 2015年3月12～17日

国際基督教大学と United Board for Christian Higher Education in Asia の共催で同大学を会場に開催された会議を後援。韓国、台湾、中国、日本の若い世代の研究者 20 名による交流と研究の機会となった。

B. 人道支援と社会福祉・教育活動への支援

1) ウイメンズカンファレンス 2015年1月30日～2月1日

日本在住の外国人クリスチャン女性のためのカンファレンス。マイノリティー女性への参加費 10 名分を支援。

2) 日本聾話学校

日本聾話学校に通う子供達への学費補助。

3) アジア学院

アジア学院の研修生 2 名（ミャンマーとリベリア出身）への農業指導者研修費補助。

C. 東日本大震災被災者支援活動

1) 明治学院東村山高校震災被災地支援キャンプ 2014年7～8月

同校生徒による被災地支援ワークキャンプ。

2) 福島・神戸子どもキャンプ 2014年7月23～29日

被災地の子どもたちとその家族が、神戸の子どもたちと交流をするキャンプ。神戸の教会と支援団体が主催して、今年で3年目。参加者は、福島から8家族。

【その他のプログラム】

ウエスレーセンターの施設貸与やイベント/活動への協力、後援により公益活動への支援を行う。

A. 後援したイベント

1) 国際インターンのための中間報告研修会(主催：合同メソジスト教会)

2014年10月19～26日 大阪

2) 教会女性のための国際研修視察（主催：合同メソジスト女性局）

2014年10月31日～11月9日 日本各地にあるミッション団体

3) 東日本大震災被災地プロジェクト視察(主催：UMCOR 合同メソジスト救援対策委員会)

2014年11月6～12日 東北被災地

4) 歩こうよ むらさきロード（主催：人身売買禁止ネットワーク）

2014年11月19日 東京

5) 第4回市民科学者国際会議（主催：市民科学者国際会議委員会）

2014年11月22～24日 東京

6) 9条国際会議（主催：日本キリスト教協議会9条の会）2014年12月3～5日 東京

7) 第3回国連防災世界会議（主催：国連） 2014年12月3～5日 仙台

B.協力した団体・グループ

UNHCR: 国連難民高等弁務官駐日事務所

UNHCR 協会

TELL: Telephone English Life Line

国際協力NGOセンター

青山学院学生ボランティア シャンテイ・シャンテイ

日本基督教団ユースミッション企画委員会

全国教会婦人会連合

BIWA 聖書研究グループ

Jesus Life House

French Women's Network Group

子供のためのプレイセラピー

ライティングワークショップ

子育て中の母親のサポートグループ など

以上